

第6回 栗東健康運動公園整備懇談会(令和7年8月19日開催) 当日質疑及び意見シート 一覧

NO	意見	回答
(公園内について)		
1	市民の為の健康運動公園ではないのか？また、栗東市にはプールがないので大きいプールを作ってほしいという地元の声もある。	市民の皆様から市内に大きい芝生広場がないという声もいただいており、芝生広場を2.7haに広げさせていただきました。官民連携を含め、市民の皆様喜んで利用してもらえるように整備を進めたいと考えています。
2	県道を挟んで少し残っている敷地は何か活用するのか？	現在の考え方としては、残置森林の一部として維持管理をしていく予定です。
3	真夏に子どもが水遊び場で遊んでいる時に見守っている親は暑すぎるので対応を考えていただきたい。	水遊び場の周辺の日陰の取り方などの対策は検討していきます。
4	ふれあい牧場とドックランが隣接しているが、犬が吠えたときに馬がびっくりして跳ねたりしないか？	馬事業者にもこの配置には指摘を受けているため、配置変更も検討します。
5	傾斜を残したままでの造成を考えているなら、傾斜を活かした遊具(超幅広滑り台、落差を活かした水遊び場等)を設置してみてもはどうでしょうか？また、水遊び場の近くの木陰にBBQエリアがあれば、夏休みの平日も賑わうのではないかと？	傾斜を残すか否かについては、今年度のMS調査を踏まえ判断する予定です。公園施設内の事業者に対しては、公募時に市として絶対やってもらいたいことと、出来ればやって欲しいことを示して事業計画を考えてもらいます。事業者決定後に協議を行い、それぞれのご意見の実現性を検討しながら住民の方々の意向を出来るだけ反映させた計画となるよう進めてまいります。
(駐車場について)		
6	駐車場の管理方法について、管理責任者は市なのか？民間なのか？	通常時の管理は駐車場も含めて指定管理事業者を予定していますが、市の施設であるため、最終的には市が責任を持って対応します。
7	駐車場の無料開放(自由に出入りできる状況)は、キャンパークの常駐利用や、暴走車のたまり場となり治安が悪くなるので避けていただきたい。	駐車場の無料開放については検討中であり、民間事業者との協議を踏まえ判断していきたいと思います。また、馬関係の事業者やPark-PFI事業者によると、公園の中に施設を設けた場合24時間開けておくのは管理上難しいという意見があり、夜間は締め切る形になると、駐車場も夜間は締め切る事になると思います。
(来場者について)		
8	来場者や乗馬等をされる方が来るのは春と秋がメインだと思うが暑い季節の夏や寒い季節の冬はどうしていくのか？	水遊び場や、日陰のとり方などを工夫すること等で真夏の暑い日でも利用してもらえるよう検討していきます。また、有名馬の誘致することができれば季節関係なく興味がある方は来園されると考えています。
9	栗東健康運動公園の来場者数の見込みはどれくらいで考えているか？	来園者数について、立地や特徴を反映できる計算式はなく、面積に応じて来園者数が増えるものとなりますが41万人と試算しています。
10	41万人の来場者数に対して、馬30頭は少なく感じ、馬と触れ合っていない来場者の方は他に何をして楽しめばいいのか？また、馬以外の魅力は何かあるのか？	にぎわい施設になると思います。馬以外の魅力に関しては、公募条件で選定された事業者のアイディアやノウハウに期待しており、その内容を市民の方々と共有しながらより良い公園を作っていきたいと考えています。
(その他)		
11	平成31年1月に開催された栗東健康運動公園整備検討懇話会について、当時公園事業の推進の要望を出していたのにもかかわらず、地元では開催された事を聞いていないので教えていただきたい。	栗東健康運動公園整備検討懇話会は平成31年の1月から3月の間に2回ほど開催させていただき、事業について立ち上げ段階での話をさせていただきました。メンバーは学識経験者や福祉関係、農業委員会、教育関係、教育委員、商工会、葉山東小学校PTA会長、葉山幼児園保護者会会長、葉山東学区自治連合会長等です。
12	栗東ホースパークという名前はもう決定なのか？	都市計画の正式名称としては栗東健康運動公園ですが、官民連携を行うにあたり馬のまち栗東として親しみやすさも込めて栗東ホースパークという名称も存在し、2つの名称を使っています。
13	馬産業全体でも人材不足なので、リトレーニングできる人も減ってきている。なので馬事業に対する人材育成をすることや、馬を通して青少年の心身の発育に貢献していくということも含めて、馬を使った人材育成を名目に入れたらどうか？	人材育成についてもコンセプトとして持っており、JRAからのその観点は期待していただいているところです。リトレーニングについては赤字事業と聞いておりますが、意義深い取り組みであるため、市としてサポートをしていけないかを検討しています。また、そういう体制をしっかりとった上で募集の際に必須とするかどうかを検討していきたいと考えています。
14	引退競走馬を受け入れるのは30頭以上増えないのか？	事業者が乗馬クラブをして、黒字経営をするには30頭程度必要と言われています。全体事業費にも30馬房程度を見込んでおりますので事業者の事業概要によって頭数が減ることはあっても、受け入れ頭数がこれ以上増えることはないと考えています。
15	例えばキッチンカー等を入れて大勢の来場者が来た時に、音に敏感な馬は大丈夫なのか？	馬の音への対応については、馬の施設が出来る所を実際に事業者の方に見ていただきましたが、国際情報高校の吹奏楽部が演奏していてもこれぐらいの音なら大丈夫と言う意見を聞いていますので、通常の騒音程度だったら基本的には大丈夫だと考えています。
16	皆さんに周知してほしいという話だが、私たちが地元の自治会長に話をしていけないといけないのか？それとも、市民向けに話をさせていただける機会を作っていただけるのか？市民向けにしっかりと情報発信・説明をしてほしい。	機会があれば説明に行かせていただきたいと思います。また、今年の7月の広報りっとうに見開きで栗東ホースパークの情報発信をさせていただきました。今後も色々な形で情報発信もさせていただきたいと考えています。
17	広報りっとうに載せるより、回覧用で回してくれた方が見る方は多いと思う。	意見を参考に、今後検討していきます。